

里親養育支援を議論

第3回全国子ども家庭養育支援地域ネットワークセミナーが6日に栃木県内で開かれ、フォスタリング（里親養育包括支援）をテーマに議論した。全国児童家庭支援センター協議会（橋本達昌会長）、全国里親会（河内美舟会長）、日本ファミリーホーム協議会（北川聡子会長）でつくる全国子ども家庭養育支援研究会（相澤仁会長）の主催。



左から河内、北川、湯澤の各氏

第3回全国子ども家庭養育支援地域ネットワークセミナーが6日に栃木県内で開かれ、フォスタリング（里親養育包括支援）をテーマに議論した。全国児童家庭支援センター協議会（橋本達昌会長）、全国里親会（河内美舟会長）、日本ファミリーホーム協議会（北川聡子会長）でつくる全国子ども家庭養育支援研究会（相澤仁会長）の主催。

2024年度に本格施行する改正児童福祉法は里親を支援するフォスタリングを強化。今後は里親支援センターを児童福祉施設に位置付ける。厚生労働省の調査によると、フォスタリング機関の母体は、乳児院が45%、児童養護施設が39%、児童家庭支援センターが13%、里親会が7%を占める。シンポジウムには湯澤典子・栃木フォスタリングセンター長、河内会長、北川会長、橋本会長が登壇した。栃木県では、県内の

児童養護施設や里親などの団体でつくる一般社団法人がフォスタリング機関を担っている。21年に開所し、現在職員は19人。役割は普及啓発やリクルート、研修、養育支援などという。湯澤センター長は役割について「こどもの意見表明支援だけでなく、里親が児童相談所に対して言えないことなどを我々が代弁していきたい」と語った。一方、北川会長は札幌市の現状を説明し

た。同市では、▽年齢を問わない▽0〜2歳▽障害—という3種類のフォスタリング機関があり、それぞれ児童養護施設、乳児院、児童発達支援センターが運営を担っている。北川会長はフォスタリング機関に対し「里親やファミリーホームをアセスメントという名の元にジャッジするのはなく、応援してほしい」と強調した。また、河内会長はフォスタリング機関への期待について「民間である利点を生かし、長い時間寄り添ってほしい」と要望。また里親増に向け退職した教員にアプローチすることを提案した。

（鮫島隆弘）

件例大てっこ里川渡内が